

## 日本のインバウンド観光発展史 (第1部)

<b>第1章 幕末の開港から明治維新まで (1853~1868)</b> . . . . .	<b>1</b>
1. 黒船来航から開国へ . . . . .	1
ペリー艦隊の来航 (p 2)	
あいまいだった日米和親条約    プチャーチン来航の余波    アメリカ商船の下田寄港	
アメリカ領事ハリスの下田着任	
日米修好通商条約の締結 (p 6)	
ハリスの江戸出府とその行程    開港と開市	
2. 外国人居留地と遊歩規則 . . . . .	7
横浜居留地の成立 (p 8)	
遊歩規則と西洋人の国内旅行 (p 10)	
英国公使オールコックの旅    生麦事件    ブラックの語る冒険遠足	
攘夷思想と外国人暗殺 (p 13)	
洋式ホテルの始まり (p 14)	
横浜居留地のホテル	
3. 日本への定期航路の創設 . . . . .	15
日本をめぐる海運 (p 15)	
P&O 汽船会社による極東路線の開設    太平洋航路の開設	
日本も世界の海へ	
4. 幕末期の西洋文明の吸収 . . . . .	17
洋学の学習 (p 18)	
長崎海軍伝習所    長崎英語伝習所    蕃書調所から開成所へ	
幕府による遣外使節の派遣 (p 20)	
留学生の欧米派遣 (p 21)	
幕府の留学生派遣    薩長の留学生派遣    幕府瓦解後の留学生たち	
<b>第2章 インバウンド観光への助走 (1868~1893)</b> . . . . .	<b>24</b>
1. 明治維新と文明開化への道 . . . . .	24
ご一新の嵐 (p 24)	
江戸から東京へ (p 25)	
築地居留地の開設	
築地ホテル館物語 (p 28)	
ホテル館建設の経緯    築地ホテル館の短かった繁栄    帝国ホテルの建設	
築地居留地の盛衰 (p 31)	
2. 内地旅行免状の時代 (1874~1899) . . . . .	32
内地旅行免状の導入 (p 32)	
外国人内地旅行允準条例    京都博覧会と入京規則    内地旅行免状の実情	
居留地制度の廃止と条約改正	
3. 外客受入体制の進展 . . . . .	36
洋式ホテルの黎明期 (p 37)	
リゾート滞在の需要    箱根と富士屋ホテル    日光と金谷カテッジ・イン    雲仙温泉	

避暑地軽井沢 日本ホテル協会の誕生 日本旅館の誕生 ホテルと旅館  
 通訳案内人（ガイド）の誕生（p 44）  
 職業ガイド誕生 イザベラ・バードと伊藤鶴吉 ガイドの組合「開誘社」の結成  
 「東洋通弁協会」の設立 内務省のガイド取締規則  
 旅行ガイドブック（p 48）  
 最初の日本旅行ガイドブック 「マレーの日本案内」誕生 鉄道院の東亜旅行案内  
 鉄道の発展（p 51）  
 横浜～東京の鉄道開通 民間の鉄道 鉄道院の設置 中央停車場から東京駅へ  
 植民地の鉄道（p 55）  
 大陸への進出 日清戦争と日露戦争 台湾鉄道と朝鮮鉄道  
 南満州鉄道の設立と国際交通の発展  
 鉄道以外の公共交通（p 58）  
 乗合馬車 人力車の登場 乗合バス 路面電車 自動車タクシー

### 第3章 インバウンド観光振興の始まりと発展・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

#### 1. 喜賓会の時代（1893～1912）：インバウンド観光振興事始め（p 62）

喜賓会設立の経緯（p 62）  
 東京商工会での提案 条約改正と喜賓会  
 喜賓会の目的と事業（p 65）  
 世界初の政府観光局「喜賓会」 喜賓会の限界  
 喜賓会からジャパン・ツーリスト・ビューローへ（p 70）  
 南貞助と日本初のインバウンド旅行業者（p 72）  
 南貞助の発見 弘岡幸作 日本初の旅行業者「南商会」

#### 2. ジャパン・ツーリスト・ビューローの時代（1912年～1930年）・・・・・・・・・・ 77

ジャパン・ツーリスト・ビューローの設立（p 76）  
 組織と体制 創業時代の事業 外客統計のはじまり  
 外客誘致機関から旅行業者へ（p 82）  
 JTB職員による乗船業務 欧亜の鉄道連絡網  
 国際観光局設置への動き（p 85）  
 対米共同広告委員会の設置

#### 3. 鉄道省国際観光局と財団法人国際観光協会の時代（1930年～1943年）・・・・ 87

国際観光局の設立（p 87）  
 国際観光局の名称と組織 国際観光委員会（財）国際観光協会の設立  
 国際観光局の事業（p 88）  
 ホテルの実態調査と整備 ホテル助成策と国際観光ホテルの誕生 旅館の改造  
 「日本案内記」の刊行 ツーリスト・ライブラリー 東洋観光会議の開催  
 戦時下の国際観光（p 92）  
 戦前の入国者数 国際観光局の廃止 ジャパン・ツーリスト・ビューローから東亜交通公社へ  
 国際観光の中断